

千年の森便り No.194

2019.09. 20

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

9月16日(月) 雨

9月9日の未明に台風15号が千葉県を直撃。その後一週間たった16日になっても千年の森近くの豊英集落など県南部には停電、断水が復旧出来ない地域が多数あります。

活動開始前に農地を借りている地主さん宅を台風見舞いに立ち寄ったところ、停電の為に暗い室内をさけたので、明るい縁側に食卓を移動して朝食を済ませたところでした。食器は使い捨ての発泡スチロール製でしたから、洗い水にも苦労しているのが分かりました。会員の中にも同様な苦労を強いられている方がいると思います。

その所為もあって、当日の活動参加者は8名のみ、雨も強くなってシカ調査用紙に記入もままならないので予定は全てキャンセル。島へ通じる道の確保と島内の被害状況の確認だけにして、昼前に引き上げました。

尚、島内の被害状況から来月に予定していた一般公開行事のきのご観察会は会員だけの活動に縮小して、危険を避けて一般参加者の募集はしない事にしました。

参加は秋元 伊藤 色川 鶴沢 及川 坂本 成沢 福島の8名でした。(坂本)



台風の爪跡生々しい大雨の中出動の8名(伊藤)

○通路の確保

ダムの上堰堤から吊り橋に至る中間地点で、サクラの大木が根こそぎ倒れ、害獣除けの電気柵を押しつぶすと同時に道を塞いでいたので、車は勿論、歩行での通過も困難な状況でした。根元の直系は60cmも有ろうかと言う大木なので、大型のチェンソーを使わなければ本格的な片付は不可能でした。仕方なく手鋸で切れる太さの枝を払って通り抜け路だけを確保しました。

チェンソーを使える人の都合に合わせて臨時活動日を設け、倒木処理をしなければなりません。(坂本)



倒木が電気柵を押し倒し道を塞ぐ



サクラの大木が根こそぎ倒れ



枝を落として通路を確保

○ツガの木はすごい

強風に煽られて根元から折れる木、幹の中間で折れる木など被害木が多い中で、一番風当たりが強くて過酷な条件下にあったと思われる大木が無傷でした。

かつてトビが巣を掛けたことのある崖際のツガの大木です。今回の強烈な南風を真正面から受ける位置にある上、斜上しているのも重心は偏っています。根は真下に伸ばせないで台地方向にしか無い筈です。それでも無事とは！よほど頑丈な根なのでしょう。畏敬の念を抱きます。(坂本)



屋根覆いが飛んだ物置

○台風15号の残したもの

雨の豊英島、いつもは見られない幻の滝を吊橋から眺めました。雨が強く、ゆっくりと見る余裕はありませんでした。散策路にはたくさんの緑色したコナラのドングリ、時折見える黄色と赤色の混ざったヤマボウシの実、アズキナシの真っ赤な小さな実、吊橋には茶色のツガの球果、島の入口部には黄緑色のアケビの実が落ちていました。

実りの秋を予感させてくれました。しかし、島内の倒木の多さに驚いています。この秋も、例年のような綺麗な紅葉が見られるよう期待し、楽しみに待っています。(秋元)



吊り橋から見る幻の滝



ギャップ林保護柵を倒木が直撃(坂本)



落下した木の実

○大きく枝の張った樹木に被害が集中

森に入って被害の大きさに驚いた。尾根筋に当たるため、雪害はあっても風倒木被害はあまりないのではと思っていたが、甘かった。特に森の中のヤマザクラが二つに引き裂かれたように倒れていたのは、衝撃だった。大きく枝の張った樹木に被害が集中している印象だが、同様な条件で被害の無いものもある。今回、県内各地の被害の大きさを知るにつけ、人家・道路・電線などの近くは若くしなやかで背の低い樹林として管理する必要があると感じているが、豊英島でいろいろ工夫してあくまでも高木林として管理してみたい。(伊藤)



幹が裂けたヤマザクラ(坂本)

○台風を受けた豊英島を観て

豊英島に入ってから第一感はずいぶん樹木の被害状況から予想していたより軽微に感じたが、それでも樹種による被害の程度の差、樹齢・樹勢による差、樹冠長率の低さによる脆弱性など様々な要因によると思われる被害樹木の実際の様子が見られ、良い体験ができた。

安全が担保されたリクレーション施設訪問の延長として来島する非会員のことを考えると、樹齢が進み樹勢の衰えた高木の伐採と間引きによる樹間距離の確保を実施、風心が低く風害に強い自然風林として管理していく必要を感じる。果たして、どれだけの人・物・金・時間の投資が必要か、見当もつかないが・・・(及川)



島内の倒木(福島)

○台風の被害調査-気になるナラ枯れ

9月は、例年なら色々なきのこが観察できる時期ですが、今回は1週間前に千葉県を直撃した台風15号の被害調査になりました。雨の中、島に入ると大きなコナラやヤマザクラが高い位置で幹折れしており、台風の風が非常に強かったことを物語っていました。



濁った豊英湖



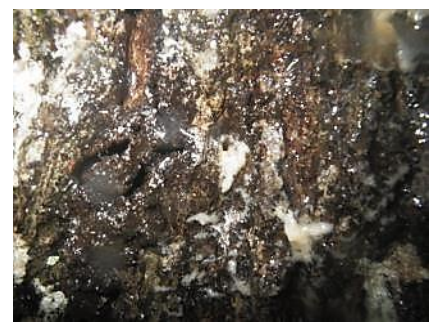
傾いた常緑広葉樹



コナラ幹折れ



カシノナガキクイムシによるフラス?



カシノナガキクイムシの穿入孔?

気になったのは、折れたコナラにカシノナガキクイムシによると思われる穴（穿入孔）とフラス（木くず）が見られたこと。もしかすると、島でもナラ枯れの被害が広がっている可能性があります。

（おまけ）ヒバカリ（ナミヘビ科、在来）が確認できました。

雨でヤマビルの活動が活発だったため、被害が多かったようです。（福島）

○ご神木は無事

千年の森に近い三島神社は地域の守り神で9月末に大祭があります。この神社には樹齢数百年の杉の大木があって荘厳な雰囲気醸しています。日光の杉並木に匹敵する太さと高さです。

村人の心の拠り所に何か異変があったか気がかりなので帰路に見回ったところ、枝先が多少折れていた程度で大きな被害は見当たりませんでした。この分では秋祭りも出来るでしょうが、停電断水下では奉納の出し物の稽古が滞るかもしれません。（坂本）



ご神木は無事で荘厳な雰囲気

お知らせ

○10月臨時活動日

10月の平日に会員の都合を調整して、臨時活動を実施し、進入路の確保、島内の台風被害の後始末をします。日程については改めてご相談し、決定後は全会員にお知らせします。

○10月の定例活動日

10月20日（日）清和自然休養村センター（直売所）駐車場9時30分集合。野生キノコ観察会（吹春講師）、林内整備（状況に応じて）。

今回、吹春講師をお招きしますが、安全確保が難しいため一般公開とはしません。会員はヘルメットを必ず着用してください。